

【市長】

新年明けましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より市政の推進にご理解とご協力をいただいております報道機関の皆さまにおかれましては、本年も変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

年頭にあたりまして、市政運営に向けた私の想いの一端を申し述べさせていただきます。

昨年1年間は、私にとりまして初めての市政運営となりましたが、市民の皆さまからの負託に、少しでも早くお応えするべく全力で走り続けてまいりました。

その中でも、公約に掲げたビジョンの一つ「子どもど真ん中のまち」の実現に向けては、“選ばれるまちプロジェクト”第1弾として「こども どまんなかアクション」を展開し、全庁をあげて子ども・子育て支援事業に取り組んできたところでございます。「こども どまんなかアクション」は今年3月末までの取組となりますが、地域全体で子どもや子育て中の方を支えていくという機運の醸成につながり、今後のまちづくりを進めるうえで大きな土台が築かれたと感じており、これからもこども どまんなかの街づくりは継続を続けてまいります。

そして今年は、昭和41年に本市が全国で初めて「スポーツ都市」を宣言してから60周年を迎えますので、スポーツを通じた市民の健康増進と、豊かで明るいまちづくりに一層取り組んでまいります。

特に、2月からはミラノ・コルティナ冬季オリンピック・パラリンピックが開催されます。昨年、nepia アイスアリーナでの最終予選を経てオリンピック出場を決めたアイスホッケー女子日本代表「ス

マイルジャパン」をはじめ、苫小牧にゆかりのある多くの選手が出場することと思います。氷都とまこまいとしてまちぐるみで応援をし、大舞台での活躍を願うとともに、多くの市民に夢と感動を与えてくれることを期待しております。

さらに、7月にはサッカーJ1・名古屋グランパスの夏季トレーニングキャンプが本市で実施されます。キャンプの受入れは、地域経済に大きな波及効果をもたらすだけでなく、「スポーツ観光都市」としてのブランドを国内外に発信する絶好の機会となります。市民の皆さまと共に選手たちに熱いエールを送り、その活躍を地域の力に変え、更なるスポーツ振興と地域活性化につなげてまいります。

北海道日本ハムファイターズの2軍施設誘致に向けた取組についても、胆振・日高地域が広域的に連携した誘致活動を展開しておりますが、本市としても、この熱意を余すことなく球団に届け、2軍施設誘致の実現に向けたチャレンジを続けてまいります。

さて、市民生活に直結する物価高騰対策につきましては、これまでも臨時交付金などを活用し、困難に直面する市民や事業者の皆さまへの支援を重ねてまいりました。しかし、物価上昇の波は依然として高く、予断を許さない状況が続いております。

こうした中、昨年末に国から「重点支援地方交付金の追加」が示されたことを受け、国の経済対策の効果を十分に発揮できるよう、生活者及び事業者に対する支援策を検討してまいりました。

本日は、その支援策の内容を後ほどお示しさせていただき、市民生活を力強く下支えする取組を進めてまいりたいと考えております。

次に、長らく市民の皆さまからご期待をいただいております、苫小牧市民文化ホール「アートキューブズ」が、いよいよ3月に供用開始となります。アートキューブズは、芸術活動の発表の場、そして国内外の質の高い文化・芸術に触れる機会を提供する、本市にとってかけがえのない文化交流拠点でございます。この新しいホールを存分に活用し、文化芸術活動の裾野を広げ、市民生活に潤いを

もたらすとともに、多くの市民が集い、親しまれるサードプレイスの実現を目指してまいります。

また、公約の達成に向け市役所の組織体制を見直し、４月１日から新たな体制で業務を開始いたします。具体的には「福祉部」の名称を「健康福祉部」に改め、市民の皆様の健康と福祉に関する施策を担う組織とするとともに、「健康こども部」の名称を「こども未来部」に改め、こども施策に特化した組織といたします。この組織体制の見直しを通じまして、効率的かつ効果的に施策を展開できる組織へと進化をさせ、市民の皆さまにより良い行政サービスを提供してまいります。

本年も“市民総活躍”のもと、子どもたちの明るい声が響き、そして高齢者や障がいのある方を含む全ての市民が「このまちに住んでよかった」と心から思えるまちを築いてまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

以上申し上げましたとおり、本年は市民生活の維持向上を図りつつ、街の発展につながる様々なチャレンジをする年になります。私は本年の市政運営にあたるテーマといたしまして、令和８年を「挑戦、チャレンジ」の年とし、チーム市役所全職員が一丸となって諸課題に取り組んでまいり所存でございます。

結びに、この１年が、皆さまにとって実り多く、明るい話題に満ちた素晴らしい年となりますよう心より祈念を申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

次に、第１７回市議会臨時会を、令和８年１月９日金曜日に開会するため、本日、招集告示をさせていただきました。

今臨時会に提出を予定している案件は、
議案として、

補正予算が1件、
条例案件が1件の、合計2件となります。

補正予算は、国から「重点支援地方交付金」の交付限度額が示されましたので、これを主な財源とした事業と、子ども一人当たり2万円を支給する「物価高対応子育て応援手当」を補正予算として提案させていただくものでございます。

条例案件は、苫小牧市特別職の職員の給与に関する条例等の一部改正についてでございます。

案件の詳細につきましては、担当部長から説明させていただきます。

【総務部長】

第17回市議会臨時会提出予定案件につきまして、御説明いたします。
議案について御説明申し上げます。

3ページ 議案1の「令和7年度苫小牧市一般会計補正予算（第8回）について」は、のちほど財政部長から説明いたします。

4ページから8ページ 議案2の「苫小牧市特別職の職員の給与に関する条例等の一部改正について」は、国家公務員の給与改定に準じ、特別職の職員に支給する期末手当を引き上げるとともに、一般職の職員の給料月額改定、期末手当及び勤勉手当の支給割合の引上げ並びに通勤手当の見直しを行うため、(1)から(3)までの3つの条例の関係規定を整備するものでございます。

改正内容でございますが、(1) 特別職の職員の期末手当の支給割合の引上げ、(2) 一般職の職員の給料表の改定、(3) 一般職の職員の期末手当の支給割合の引上げ、(4) 一般職の職員の勤勉手当の支給割合の引上げ、(5) 通勤手当の見直し となっております。

この条例の施行日（しこうび）は公布の日でございますが、改正内容の(1)イ、(3)イ、(4)イ、(5)イ及び(5)ウの施行日（しこうび）は令和8年4月1日でございます。

以上で、簡単ではございますが、私からの説明を終わらせていただきます。

【財政部長】

令和7年度第17回市議会臨時会補正予算（案）概要をお願いします。

今回の補正は、国から「重点支援地方交付金」の交付限度額が示されましたので、これを主な財源とした事業と、こども一人当たり2万円を支給する「物価高対応子育て応援手当」を補正予算案として提出させていただくもので、一般会計のみの補正でございます。

補正額は、2ページの歳入、3ページの歳出、ともに、
21億5,639万2千円の増額補正でございます。

内容につきまして、説明させていただきます。

4ページ

第2款『総務費』、

1番「生活応援型プレミアム付商品券事業費」【繰越明許費】は、プレミアム付商品券を発行し、食料品等の物価高騰の影響を受けている市民に対する支援を行うものでございます。

第3款『民生費』、

2番「高齢者施設等物価高騰対策支援事業費」は、高齢者施設等の負担軽減を図るため、食料・燃料等の物価高騰分として、支援金を給付するものでございます。

3番「住民税非課税世帯等商品券給付事業費」【繰越明許費】は、住民税非課税世帯等に対して、1世帯当たり5千円の商品券を給付するものでございます。

4番「高齢者交通費自己負担無料助成事業費」は、市内路線バスで利用できる「高齢者優待乗車証」の自己負担分を助成し、利用者負担を無料とするものでございます。

5ページ

5 番「物価高対応子育て応援手当支給事業費」【繰越明許費】は、物価高騰の影響を受けている子育て世帯を支援するため、児童一人当たり 2 万円を支給するものでございます。

6 番「保育施設等物価高騰対策事業費」は、物価高騰による保育施設等の負担を軽減するため、支援金を支給するものでございます。

第 7 款『商工費』、

7 番「中小企業物価高騰対策支援事業費」【繰越明許費】は、物価高騰の影響を受けている市内の中小・小規模事業者に対し、1 事業者当たり 10 万円の支援金を支給するものでございます。

第 12 款『諸支出金』、

8 番「水道事業会計繰出金」【繰越明許費】は、物価高騰の影響を受けた生活者や事業者の負担軽減を図るため、水道事業会計が実施する水道基本料金 2 か月分の減額に伴う繰出金でございます。

6 ページ

第 13 款『職員費』、

9 番「一般会計所属職員給料及び諸手当」は、国庫補助金による財源更正でございます。

7 ページ

「繰越明許費」の追加でございますが、先ほど説明いたしました『総務費』の「生活応援型プレミアム付商品券事業」ほか

4 事業につきまして、事業が年度内に完了しない見込みのため、繰越明許費の設定を行うものでございます。

なお、8 ページから 15 ページに、事業の概要を掲載しております。

また、16 ページに、「重点支援地方交付金・物価高対応子育て応援手当事業一覧」を掲載しておりますので、ご参照ください。

以上、簡単ではございますが、補正予算の説明を終わらせていただきます。

【市長】

案件の説明は以上でございます。

皆さんからのご質問があれば、お受けいたします。